

京都府戦略的地震防災対策指針及び推進プランの改定について

現在の第三次京都府戦略的地震防災対策指針及び同推進プランの改定にあたって、花折断層帯地震の被害想定見直し結果や、令和6年能登半島地震対応の中で検討すべき課題等を踏まえ、以下のとおり、指針に掲げる6つの政策目標における検討課題を抽出し、専門家等の意見を踏まえ、今後の地震防災対策の検討を行う。

1 地震に強い京都のまちづくり

- ・道路の寸断による救助活動の遅れ、孤立集落の発生への対応（沿岸部、中山間地等）
- ・大規模な断水被害への対応（インフラの耐震化）

2 地震等に強い京都の人づくりを進める

- ・自分や周りの方々の身を守ることでできる自助・共助の意識の醸成（防災教育）

3 地震時の住まいの安全、地震後の住まいの安心を守る

- ・住まいの耐震化等（住宅耐震改修）
- ・避難所のあり方（耐震化、衛生環境の確保）
- ・応急仮設住宅の確保

4 行政等の災害対応策の向上を図る

- ・府の災害対応体制の確保
- ・広域避難対策の検討（1.5次・2次避難）
- ・津波避難対策
- ・避難所運営体制の確保
- ・物資支援のあり方（備蓄、物資輸送手段の確保）
- ・インフラの被害・復旧対応の検討

5 京都経済・活力を維持し、迅速な復旧・復興を実現する

- ・災害拠点病院における業務継続性の確保
- ・復興計画の策定手順の検討

6 京都らしさを保った復旧・復興を実現する

- ・外国人を含む府外被災者への対応